

EX33にNewtype登場!!

※取材協力
 ヤンマー船用システム株式会社 名古屋支店 愛知県海部郡蟹江町学戸2丁目33番地
 TEL:0567-95-5043 URL:www.yanmar.co.jp/marine/
 株式会社 師崎ヤンマー商会 愛知県半田市有楽町6丁目108番地
 TEL:0569-23-1571 URL:www.m-power.co.jp/

全長:10.63m、全幅:3.30m、全深:1.90m、
 搭載エンジン:6LY2-WST 279kW(380ps)、
 セット質量:4,530kg、燃料タンク:600L、
 航行区域/免許:限定沿海/2級以上
 最大搭載人員:12名
 税込小売価格(限定沿海仕様)

22,403,850円

※上記価格には、安全備品代、進水諸経費代を含んでおります。
 オプション部品、検査料、検査代行料、登録料は含んでおりません。



NEW YANMAR EX33II Impression



今回ご紹介するのはヤンマー船用システムから発表された今話題のニューモデル「EX33II」。2009年の発売以来多くのボートオーナーから高い支持を得ていた従来の人気モデル「EX33」のニューモデルとして登場したこのボートは、このクラスでは初となるフライングブリッジを採用している。従来モデルのEX33は力強くパワフルかつ快適な走り、居住性能の高さが特徴的であったが、今回これにフライングブリッジを追加したことで、ボートが発揮するパフォーマンスは更に高いものとなった。EX33IIはガラス付きのハードトップタイプのフライングブリッジを採用しているため、航行時に風を正面から体に受けることを無くしてくれる事に加え、降雨時にも雨粒から体を守ってくれる。そ

してフィッシング機能としてはトローリングにおいて、その効果を発揮すると言える。フライングブリッジから抜群の視界の高さと視野の広さを駆使する事で、潮目の視認やビルフィッシュとのやり取りにおいて、格段に効率が上がると言える。また、クルージング時にはその抜群の開放感で、非日常のいつもより高め視線から大海原の景色を楽しむことは、クルージングの楽しさを増す要因となり、オーナーやゲストは1ランク上のクルージングを楽しむ事が出来るのではないだろうか。フライングブリッジは2名がゆったりと座る事の出来る広さがあり、ここに座って海を見ながらのクルージングは会話が弾むに違いないとさえ思ってしまう。また、ハンドル右にある航海機器を収納するスペー

スには9インチ複合型航海計器と無線機が収納出来るようになっていて、このボートの持つフィッシングに対する高いこだわりを感じる事が出来た。また、このボートの特徴としては更に標準装備の充実と艙装オプションの充実がある。標準装備の充実としては、走行時の最適な姿勢を制御出来るフラットタイプの電動トリムタブと60L清水タンク等が追加されており、艙装オプションの充実としては、これまで現地での艙装が難しかったスタンスラスタやアフトシンク等が工場オプションで対応出来るようになったことである。これらはユーザーからの声として受け取っていた事柄を実際に形にしていることもあり、今後多くの支持を得る事が容易に想像することが出来る。そしてこのボートの乗り心

地としては、やはりパワフルな走りがとても気持ち良く、スロットルを倒していく時の高揚感はかなりのものである。そしてストレスなくスムーズに加速し、走行時も安定感があるため非常に快適だ。これなら長時間のクルージングやフィッシング中のポイント移動もあまり気にならないのではないかなと思う。また、フライングブリッジでの操船も非常に開放感と迫力があって面白い。EX33の持つパワフルかつ快適な乗り心地性能を維持しつつ、開放感溢れる走りを目の前に広がるワイドな景色を楽しみながら味わう事が出来るのだ。また、コーナー時も大きく横にフラつくこともなく、グリップの効いた鋭いコーナリングを味わわせてくれた。やはり走行のパフォーマンスもフライングブリッジが付い



FB採用で見た目もとてもお洒落なボートに!!



※取材協力
スズキマリーナ三河御津 愛知県豊川市御津町御幸浜1-1-25
TEL 0533-76-3521 URL <http://suzukimarine.co.jp/marina/mikawamito/>



キャビンからFBにかけての船体は非常にシャープなデザインでお洒落だ。



FBの追加により、キャビンだけでなく、FB内での操船も可能となっている。



走行性能の発揮や風流れを最小限にすべく、FB定員は2名となっている。



パウデッキも広々としており、釣りをするスペースがしっかり確保されている。



スターンデッキはフラットで作業しやすく、スペースを効率的に使う事が出来る。



スターンデッキには広めの収納スペースやイケスがあり、釣りにも最適だ。



ウォークアラウンドは広めに幅を取っており、船上の移動もし易い。



エンジンは6LY2-WSTを搭載しており、380馬力を発揮する優れものだ。



ハルはシャープで厚みもあり、波をしっかりと押さえる事が出来る。



プロペラ点検庫があれば、いざという時のペラの確認に大変便利だ。



ユーザーの要望に応え、工場オプションでスタンスラスターの装着も可能だ。



走行時の最適な姿勢を制御出来る電動でスタンスラスターの装着も追加している。

たからといって大きく下がることは無いというイメージだ。今回取材したボートのエンジンは6LY2-WSTを搭載しており、380馬力の走りは圧巻の走りを操船者に味わわせてくれる。このEX33Ⅱは走れば走る程、そして見れば見る程に魅力的な部分が見えてくるボートで、キャビン内、パウ、スターンデッキと様々な箇所に目が奪われてしまった。パウデッキは広くて動きやすいスペースをしっかりと確保していて、キャストイングでの釣りにも適していると言えるし、スターンデッキはフラットでとにかく使い易いというイメージを持つことが出来る。フラットであ



パウバースは広くてちょっとした休憩にも最適だ。



キャビンの各扉を見ても高級感が見てとれる。



長時間の航行に欠かせない電動マリントイレも広い。



座り心地の良いシートと見やすい配置のメーター類。



パウとスターンのスラスターも操作し易い設計だ。



テーブルを挟んで会話を楽しむことが出来る。

るが故に邪魔になる部分が全く無いため、オーナーが自分の使いたいようにボートが使えるのではないだろうかと思う。そして離着岸の際に大きく力を発揮するのがパウとスターン部分に装着されたスラスターである。ここで微調整が出来ると出来ないのではこのクラスのボートになると、とても重要な要素であると言える。そして目立たないが沖でペラの様子を見たい時に非常に役立つ動きをしてくれる、プロペラ点検庫も忘れてはならない。そしてキャビンに足を踏み入れればこのボートの魅力を更に知る事が出来る。高級感のある色合いにまず目を奪われ、次に座り心地の良いシートに座る事が出来る。ゆったりと長いシートはどこに座っても非常に座り心地が良い。そして窓から見える視野も幅広く取ってあるため、非常に外の景色も見やすい。そしてクルージングや釣りのどちらをするにしても嬉しい場所がパウバースだ。広めに取られたスペースでは長めのクルージングや釣りの途中の休憩時に最適なスペースとなるのだ。やはりこのボートの持つ居住性能の高さというのも非常に高レベルであるということを再度認識することが出来た。今回の『EX33Ⅱ』のインプレッションでは、このボートの持つフィッシング機能と居住性能の高さに加え、居心地抜群のフライングブリッジのもたらす更なる進化を感じる事が出来た。